

農林水産委員会

農産物の輸出に
どのように取り組むのか
東南アジアを
ターゲットとして取り組む

問 国では二〇二〇年までに農林水産物・食品の輸出額を一兆円にする目標の前倒しを目指しているが、本県ではどのように取り組んでいくのか。

答 酒や水産加工品の輸出は進んでいるが、ジェットロとの連携により、農産物も少しずつ動き出している。輸出規制の状況などを踏まえながら、東南アジアをターゲットとして積極的に取り組んでいく。

問 全国ワースト二位である本県の主食用米の過剰作付を解消するため、飼料用米への作付転換をどのように推進しているのか。

答 主食用米の過剰作付が百ha以上ある水戸市や茨城町など十一市町を対象に、五ha以上の大規模水稲農家二百七十七戸への個別訪問を実施している。

問 レンコン産地においては、カモやバンなどの鳥害被害が問題になっているが、どのように対応していくのか。

答 レンコン田での水鳥の生態や行動は、不明な部分が多いため、専門家の協力の下、センサーカメラの設置や改良型防鳥ネットの試験などにより知見を蓄積するとともに、



海外商談会の様子(マレーシア)

収量・収益に影響が少なく、鳥の生態にも配慮したレンコン栽培について継続的に研究を進めていく。

問 農業・農村における女性の活躍のため、どのような支援を行ってきたのか。また、今後どのように支援していくのか。

答 生産技術や経営管理などの習得を目的に農村女性大学を開講しており、直売や加工販売に発展するなどの成果も見られた。今年度は、女性農業者の確保のため、手本となる女性農業者の就農相談会への派遣や、農村女性の活躍事例集の作成・配布などを行う。(ほかに、国営那珂川沿岸農業水利事業、農地中間管理事業の実績なども質問)

土木企業委員会

茨城港常陸那珂港区の
今後の方向性は
優位性を生かし、企業誘致や
貨物の増加に取り組む

問 茨城港常陸那珂港区の整備やポートセールスを進め、国際的な競争力を高めていく必要があると考えるが、今後の方向性は。

答 常陸那珂港区の良好な交通アクセスや大規模な後背地などの優位性を生かし、企業誘致を進めるとともに、コンテナ貨物もとよりRORO船※貨物の増加にも積極的に取り組んでいく。

問 バイパス工事などが遅延する原因の一つに用地の取得が困難な箇所があることが挙げられるが、県ではどのような対応を行っているか。

答 用地課において、定期的な土木事務所などを訪問して状況調査を行っており、進捗や課題などを把握して指導・助言している。また、困難箇所のうち、重要路線などで緊急に整備する必要がある路線については、土地収用法の活用も視野に入れて進行管理に努めている。

問 団塊の世代が退職し技術系職員の採用を徐々に増やしている状況において技術力の低下が懸念される。その維持に向けた対応は。



整備が進められている茨城港常陸那珂港区

職員数と個人の技術力向上が必要となっている。特に若手職員の向上を図るため、経験豊富な検査員による技術指導、測量・調査・設計などの専門研修に取り組んでいる。

問 今後の人口減や節水機器の普及などにより水需要は減少傾向にあると考えるが、企業局の経営戦略において横ばいと見込んでいる理由は。

答 水道用水供給としては二十年前では若干増加しており、今後は市町村において県の水道水への転換も考えられることから、水需要予測は横ばいと設定している。(ほかに、東関東自動車水道戸線の開通見直し、県障害者権利条例を踏まえた道路の対応なども質問)

問 他県では、簡易な通話録音型の装置を住民に貸し出し、二七電話詐欺の被害防止対策に取り組んでいる例もあるが、本県はどのように取り組んでいくのか。

答 警戒・啓発の広報や防犯メールによる注意喚起を行うほか、迷惑電話をブロックする「迷惑電話チェッカー」の実証実験を行っている。簡易型装置の導入については、実証実験の結果や他県での効果を踏まえ検討していきたい。

問 小学校などでは自転車の安全運転教室が実施されているが、自転車に乗り始めた幼児の事故防止については、どのように取り組んでいくのか。

答 平成二十六年中は、約二万人の幼児を対象に交通安全教室を実施した。六月一日からの自転車運転者講習制度に合わせて自転車販売業者とも連携を取っている。今後は、交通安全教室の実施を含め、子供の事故防止に努めたい。

問 平成三十一年に開催される茨城国体に向けて、本県選手強化にどのように取り組んでいくのか。

答 競技者あるいは指導者として優れた教員を確保してい

文教警察委員会

二七電話詐欺の被害防止に
どのように取り組むのか
広報啓発のほか迷惑電話防止
装置の導入を検討していく

くとともに、県体育協会と協力した指導者の養成や、スポーツ専門学部を持つ県内大学などと連携しながら、指導者の養成と選手の育成・強化に取り組んでいく。

問 個人情報流出が問題となっているが、学校において外部からのサイバー攻撃に対してどのように対応しているのか。

答 県立学校では、教育情報ネットワークを使用し、一元的なウイルス対策を講じている。各学校において、教員に対しセキュリティ研修を行い、しっかりと対応していきたい。(ほかに、学校の耐震改修促進、運動部活動のあり方なども質問)



迷惑電話チェッカー(左側)をつけた電話機

※【RORO船】…ロールオン・ロールオフ船の略。貨物をトラックやフォークリフトで積み卸すために、船尾や船側ゲートを有する船舶のこと。